

(件名)

療養病床の転換意向等調査結果について

(福祉長寿局長寿政策課)

1 調査の概要

第 7 期介護保険事業（支援）計画のサービス見込み量算定及び第 8 次保健医療計画における医療提供体制の検討の基礎資料とするため、療養病床を有する医療機関を対象に、平成 29 年度末までの転換意向等調査を実施し、結果をとりまとめたので報告する。

介護保険施設等への転換を予定、又は検討している療養病床については、必要に応じて地域医療構想調整会議での調整等を行った上で、その内容を両計画に適切に反映させる必要がある。

なお、結果は調査時点における各医療機関の意向・見込みであるため、国の社会保障審議会「療養病床の在り方等に関する特別部会」の検討状況等に応じて、改めて転換意向等調査を実施する。

- (1) 調査時点 平成28年 6 月 1 日現在
 (2) 調査対象 100機関（医療療養病床のみ75、介護療養病床のみ8、両病床17）
 （平成29年度末が設置の期限とされている介護療養病床及び医療療養病床（25対1）を有する医療機関に対しては、訪問により調査を実施（一部政令市分を除く）。）
 (3) 回 答 100機関

2 結果の概要

(1) 概要

【医療療養病床、介護療養病床合計】

転換元 \ 転換先		医療保険			介護保険		廃止	未定
		医療療養病床	一般病床	左以外の病床	老健	左以外の介護施設		
合計 100 機関 11,034 床	機関数	81	3	0	1	4	3	36
	病床数	7,848 (71.1%)	107 (1.0%)	0 (0.0%)	52 (0.5%)	118 (1.1%)	50 (0.5%)	2,859 (25.9%)

※複数施設への転換を予定している医療機関、医療療養病床及び介護療養病床の両方を持つ医療機関があるため、機関数の合計は一致しない。

【医療療養病床（25対1）の転換先】

- 30 機関、2,558 床は医療療養病床（20対1）へ移行
- 11 機関、433 床は転換先未定
- 1 機関、23 床は老健その他の介護保険適用施設へ転換

⇒ 転換先施設のサービス量増

転換元 \ 転換先		医療保険			介護保険		廃止	未定
		医療療養病床	一般病床	左以外の病床	老健	左以外の介護施設		
医療療養病床 (25対1) 41 機関 3,021 床	機関数	30	0	0	0	1	1	11
	病床数	2,558 (84.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (0.8%)	7 (0.2%)	433 (14.3%)
医療療養病床 (全体 ※参考) 92 機関 9,066 床	機関数	77	2	0	0	1	2	18
	病床数	7,648 (84.4%)	103 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (0.3%)	42 (0.5%)	1,250 (13.8%)

※複数施設への転換を予定している医療機関があるため、機関数の合計は一致しない。

【介護療養病床の転換先】

- 18 機関、1,609 床は転換先未定
- 5 機関、204 床は医療保険適用の病床へ転換
- 4 機関、147 床は老健その他の介護保険適用施設へ転換

⇒ 介護療養型医療施設からサービス量減

⇒ 転換先施設へサービス量振替え

転換元 \ 転換先		医療保険			介護保険		廃止	未定
		医療療養病床	一般病床	左以外の病床	老健	左以外の介護施設		
介護療養病床 25 機関 1,968 床	機関数	4	1	0	1	3	1	18
	病床数	200 (10.2%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	52 (2.6%)	95 (4.8%)	8 (0.4%)	1,609 (81.8%)

※複数施設への転換を予定している医療機関があるため、機関数の合計は一致しない。

(2) 転換意向が未定の主な理由

- ①国の政策が変わるのではないかという不安がある 8 機関
- ②転換後の経営の見通しが立たない 4 機関
- ③国の転換支援策の具体的内容がわからない 4 機関
- ④転換を判断するための情報が不足している 4 機関
- ⑤その他 6 機関